

平成30年度(2018年度)

管理事業名	青少年教育事業				総合計画の体系	第4章 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 第1節 学ぶ意欲と主体性を育てるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 10	教育費	(項) 5	社会教育費	(目) 2 青少年教育費
部局名	地域教育部	予算執行所属	青少年室			
予算大事業名	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					
一般事務事業 青少年育成事業 青少年指導事業 自然体験活動・環境教育推進事業 子どもプラザ事業						
<b>事業の目的と概要</b> ・青少年の豊かな人間性や社会性を育むため、自然体験など様々な体験や学習の機会を提供し、青少年の主体的な取組みを支援します。 ・青少年団体、青少年指導者を対象に、技術や知識の向上につながる研修会や講習会を実施し、地域での青少年活動の活性化を図ります。 ・青少年を様々な誘惑や犯罪から守るため、有害環境の把握や問題行動・非行の防止に向けた地域ぐるみの取組みを進めます。 ・不登校、いじめ、引きこもりなど、様々な課題を抱える青少年を対象に、さわやか元気キャンプを実施し、自然体験活動、生活体験を通じて、思いやりの心や社会性を養い、「生きる力」を自ら育むことを目指します。 ・青少年が健やかに安心して安全に地域で活動できるよう、仲間づくりや居場所づくりを進めます。						

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	成果指標の定義
青少年指導員数	人	172	167	169	青少年指導員数(定員 184人)
成人祭参加者数	人	2,000	2,000	2,200	成人祭参加者数
全市一斉合同パトロール参加者数	人	4,313	3,761	2,954	前期、後期パトロール参加者数
市民大会参加者数	人	900	0	0	地域安全・青少年育成吹田市民大会参加者数
さわやか元気キャンプ参加者数	人	29	39	30	海の学校、山の学校参加者数
太陽の広場開催日数	日	1,823	1,798	1,527	市内36小学校、太陽の広場開催延日数
成果の説明	・子ども会スポーツ大会、吹田青少年野外コンサート、成人祭、子ども文化鑑賞事業など、青少年育成のための各種事業を青少年関係団体等の協力を得て開催することにより、青少年の健全育成に対する啓発とその活動への参加を促進しました。市民大会については、大阪府北部地震の影響で会場の確保ができなかった事により実施していません。 ・野外活動、ゲームソング、レクリエーションなどの体験を通じて、青少年リーダーとなるきっかけづくりとして、青少年リーダー講習会を開催しました。また、青少年に関わる地域のボランティアの方々を対象に青少年指導者講習会を開催し、知識や技能の向上、地域の健全育成の取組みについて充実を図りました。 ・11月の「子供・若者育成支援強調月間」に青少年関係団体が中心となり、市民が一体となって、テラン等による啓発活動や「全市一斉合同パトロール」等に取組むことで、青少年が健全に成長できる社会環境づくりを推進することができました。 ・教育センターや各学校と連携してさわやか元気キャンプ(夏の海洋体験、冬のスキー)を実施し、自然体験や生活体験を通じて、自立を支援しました。 ・子どもプラザ事業では、水曜日の放課後及び夏季休業中や土曜日などに、小学校の施設や地域における学習資源などを活用し、子供たちの安心・安全な居場所を提供する「太陽の広場」とともに、様々な体験活動の場となる「地域の学校」を通じて子供の自主性、創造性などを育みました。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書 (単位:千円)

勘定科目	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	3,454	3,454	3,281	△173
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	62	54	54	0
経常収入 小計(a)	3,516	3,508	3,335	△173
給与関係費	103,900	105,034	104,663	△372
物件費	33,468	32,113	30,486	△1,627
維持補修費	14	22	-	△22
社会保障扶助費	-	-	54	54
負担金・補助金・交付金等	16,369	17,098	16,550	△548
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	-	-	-	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	5,778	5,858	5,943	84
退職手当引当金繰入額	7,771	5,526	4,650	△876
支払利息	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	167,299	165,651	162,346	△3,305
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△163,783	△162,143	△159,011	3,132
特別収入	-	-	-	-
固定資産売却益	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
固定資産除売却損	-	-	-	-
その他	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△163,783	△162,143	△159,011	3,132
一般財源充当額	161,521	162,834	160,738	△2,096
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△2,262	691	1,728	1,036

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費 94,336千円 審議会委員等人件費 10,327千円
物件費	子どもプラザ事業委託料 14,059千円 地域コミュニティ事業委託料 8,527千円
負担金・補助金・交付金等	青少年対策委員会事業補助金 15,180千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,516	3,508	3,335	△173
行政サービス活動支出	165,037	166,343	164,074	△2,269
行政サービス活動収支差額	△161,521	△162,834	△160,738	2,096
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	-	-	-	-
財務活動収支差額	-	-	-	-
収支差額 合計	△161,521	△162,834	△160,738	2,096
一般財源充当額	161,521	162,834	160,738	△2,096
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 地域教育コミュニティ 府補助金 3,281千円 雇用保険料本人負担分 54千円
----------	--

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
青少年1人当たりのコスト	平成28年度	109,656 人	1,526 円	青少年1人当たり 1,481円のコストがかかっています。(対象:0~29歳)
	平成29年度	109,400 人	1,514 円	
	平成30年度	109,600 人	1,481 円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成29年度末 A	平成30年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	5,858	5,943	84
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	5,858	5,943	84
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
有形固定資産	0	0	-	固定負債	63,409	61,597	△1,812
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	0	0	-	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	63,409	61,597	△1,812
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
固定資産	-	-	-	負債の部合計	69,268	67,540	△1,728
インフラ資産	-	-	-	純資産	△69,268	△67,540	1,728
土地	-	-	-				
建物・工作物	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
重要物品	-	-	-	純資産の部合計	△69,268	△67,540	1,728
図書館資料	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-	負債及び純資産の部合計	0	0	-
出資金	-	-	-				
長期貸付金	-	-	-				
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
資産の部合計	0	0	-				

III 財務構造分析

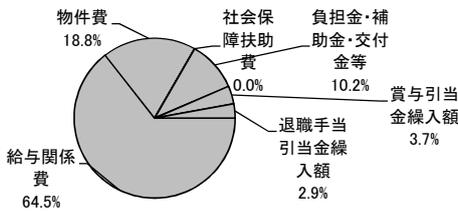
▽人にかかるコストの内訳

	常勤・再任用 月平均	非常勤 月平均	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
事業従事人数	9.27 人	5 人	994 日	169 人	115,256
給与関係費等	81,916 千円	15,894 千円	7,119 千円	10,327 千円	
内、時間外勤務手当	4,527 千円				

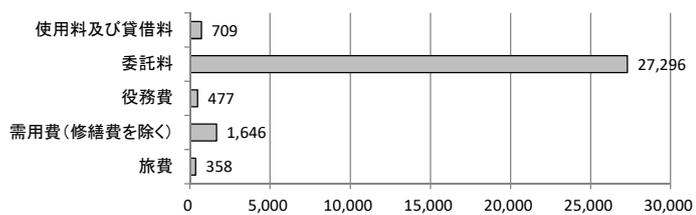
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	『愛の鐘』自動放送装置
取得年月日	昭和60年(1985年)12月1日
建物・工作物の取得価額	1,800 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,800 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度			差 B-A
	平成28年度	平成29年度 A	平成30年度 B	
施設維持補修費比率	0.8	1.2	-	△ 1.2
施設老朽化比率	100.0	100.0	100.0	0.0
受益者負担比率	-	-	-	-
徴収不能引当率	-	-	-	-
一般財源充当比率	97.9	97.9	98.0	0.1
経常費用対公共資産比率	9294.4	9202.9	9019.2	△ 183.7

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は56.2%】

IV 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書】

経常費用の主なものにつきましては、給与関係費104,663千円(64.5%)、物件費30,486千円(18.8%)、負担金・補助金・交付金等16,550千円(10.2%)となっております。

物件費の主な内訳は、子どもプラザ委託料14,059千円、地域コミュニティ事業委託料8,526千円、需用費 1,646千円です。

負担金・補助金・交付金等のうち、15,180千円が青少年対策委員会が実施する地区青少年健全育成事業への補助金です。

経常収入の内訳は、地域教育コミュニティ府補助金が3,281千円、その他収入として、非常勤職員及び臨時雇用員に係る雇用保険料本人負担分54千円です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

- ・青少年育成団体と連携して、青少年野外コンサート、子ども会スポーツ大会等を開催し、文化・スポーツ・レクリエーション活動等を通じて、青少年の健全育成に努めます。
- ・指導者養成事業では引き続き、講座内容・開催日等について吟味し、楽しく参加でき、魅力ある講習会の実施を目指します。
- ・青少年の健全育成を支援するため、「子供・若者育成支援強調月間」の取組の一層の充実と定着を進めます。
- ・さわやか元気キャンプの実施に当たっては、学校や教育センターとの連携のほか、青少年活動サポートプラザの青少年相談事業との連携などをさらに進めます。
- ・国が平成26年(2014年)7月に策定した「放課後子ども総合プラン」では、放課後子供教室(太陽の広場)と放課後児童クラブ(留守家庭児童育成室)の児童が共通のプログラムに参加できるよう、2つの事業が連携して実施することを目指しています。吹田市では、国のプランに先行して、太陽の広場と留守家庭児童育成室を連携して実施しており、両事業の更なる連携を進めるとともに、平成28年度から実施している活動プログラムの充実を目指します。